

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

紫斑病性腎炎と IgA 腎症の異同についての検討

1. 研究の対象および研究対象期間

・2008 年 4 月～2018 年 12 月に当院腎臓内科へ入院し、以下 2 つの臨床研究に同意され腎生検を受けられた方
「わが国の腎臓病患者における腎生検データベース構築ならびに腎臓病総合データベース構築に関する研究」
「慢性および急性腎病変におけるクラステリンの意義」

2. 研究目的・方法

紫斑病性腎炎（HSPN）と IgA 腎症（IgAN）は血尿や蛋白尿を認め、腎臓の組織に免疫グロブリンの IgA1 という蛋白が沈着する病気であり、腎不全の原因となります。現時点で、両者が「同一疾患なのか」あるいは「別の疾患なのか」を断定することは困難です。しかし、正常とは異なるガラクトース欠損 IgA1（Gd-IgA1）が IgAN だけでなく HSPN の発症にも関与するとして報告が相次ぎ、HSPN と IgAN の異同が改めて注目されています。

そこで、我々は皆様（2008 年 4 月～2018 年 12 月に腎生検され、主に HSPN や IgAN と診断された方々）の血液および尿の検査結果、腎生検での病理所見を詳細に解析し、提供して頂いた血液や腎組織中の Gd-IgA1 も評価して、HSPN と IgAN の共通点と相違点を明らかにする目的で本研究を行います。

研究期間

昭和大学医学部「人を対象とする研究等に関する倫理委員会」で承認後、実施許可を得てから 2021 年 3 月 31 日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

腎生検で採取させて頂いた血液や尿、腎組織の一部を試料として使用します。更に、診療録に記載された病名、病歴、既往歴、年齢、身体所見、血液や尿の検査結果、腎生検結果、治療歴なども参照させていただきます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：昭和大学病院（医学部内科学講座腎臓内科学部門）氏名：和田 幸寛

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8533